

め、工場見学会やインタ これらの取り組みの内容 接する元社宅用地などと

ヨソ施設に入居する見通

京都立川市」と連携し、

も紹介された。

# 公園ベンチに防虫効果

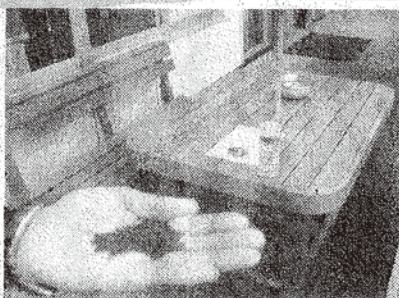
トウガラシの  
カプサイシン利用 自治体向け発売

昭和技研など

【宇都宮】昭和技研 吉章社長、048・88  
(さいたま市南区、高野 2・4080)と抗菌研 市、丸尾茂明社長、02

計開発拠点。一方、三次。よかもん市場は20 という。また専門アドバ

87・48・6211) は、防虫効果を持たせた 廃プラスチック製のベンチなどを自治体向けに4月に発売する。樹脂に混ぜた直径約1ミリのトウガラシのカプサイシン成



分が作用し、防虫効果を発揮する。昭和技研が販売を担当し、公園のベンチなど公共財向けに提案

する。初年度に1億円の売上高を目指す。昭和技研は学校などの給食用の厨房機器の施工や保守などが主力。近年は廃プラを利用したりサイクル事業を手がけ、ウツドデッキなどを販売している。

今回、抗菌研究所が開発したホタテ貝

を原料とする抗菌性素材とトウガラシの微細化素材を廃プラの樹脂に混合。これを昭和技研が射出成形機を使って製品化する。廃プラの防虫効果に加え、防虫・抗菌効果が働くという。昭和技研の高野社長は「自治体のベンチなどはパブル期に製作されたものが多く、代替の時期が来ている。防虫効果売りに自治体に働きかけた」としている。

使われる消防器具。先端

ミニウム製シャフトに掘